

会 議 要 旨 書

会議名	令和6年度第1回三鷹市市民体育施設利用者懇談会
日時	令和6年9月20日（金曜日） 18：30～20：30
場所	三鷹市教育センター3階 第三中研修室
出席委員	東山昌央、中野石太郎、木村浩徳、石川裕麻、西木戸秀和、室谷浩一、酒井崇（名簿順、敬称略）
欠席委員	丸岡近賀子、是井広則、結束啓子、渡部恵理（名簿順、敬称略）
出席説明員	スポーツと文化部長 大朝摂子、スポーツと文化部調整担当部長 平山寛 スポーツ推進課長 二浦孝彦、スポーツ推進課主査 山地秀享 スポーツ推進課主事 青木稜香、橋本佳南
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	0人

1 委嘱式

- ・委嘱状の交付
- ・委員自己紹介
- ・座長あいさつ

2 会議（進行を座長へ）

【事務局】

- ・委員の出席状況について
4人が所用により欠席。
- ・傍聴希望について
現時点で傍聴の希望者はいないが、遅れて希望者がでた場合は条例に基づき入場してもらう。
- ・会議録の作成と公開について
三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。
- ・配布資料の確認

(1) 令和5年度第2回三鷹市市民体育施設利用者懇談会（2月29日（木）実施）でのご意見について

【二浦スポーツ推進課長】

令和5年度第2回三鷹市市民体育施設利用者懇談会ご意見及び対応状況について説明。

【東山座長】

大沢総合グラウンドの貸出テントについて、これは7月に新しく入れていただいたという認識でよろしいですか。

【酒井委員】

元々貸出備品として、貸出を行っていた。また、今年からスポーツ協会の方でも熱中症対策備品として貸出を始め、共に貸出可能な体制を整えている。

【東山座長】

そのような記載があると、改善が目に見えて良いと思う。

(2) 三鷹市市民体育施設へのご意見（ソフト面）について

【室谷委員】

令和6年度スポーツと文化財団の事業計画書（スポーツ関連事業）について説明。

【酒井委員】

スポーツと文化財団自主事業のスポーツ教室について説明。

【中野委員】

大きな話となるが、社会構成の中でスポーツそのものを根付かせ、競技スポーツに若い人や中間層の人が飛び込めるようなシステム作りを検討する必要があると思う。

調べてみると、学校では顧問の先生がいないため、部活等で興味のあるスポーツを行えない子どもが結構いることがわかった。また、競技人口の高齢化により、競技スポーツというよりは、

健康維持のためのレクリエーションとなってしまうている。そのため、スポーツ協会などが声をかけて、顧問の先生がいない学校でもスポーツをしたいと思っている子どもを引き出し、三鷹市の中心部でクラブを作るなど、多くの人が参加できるような方法を考えていく必要があるのではないか。

【平山調整担当部長】

おっしゃるとおり、子どものスポーツ活動は大きな課題の一つとして、市と財団等で取組をしている。

未就学児については、財団の方で、子どもの体力測定や幼児期のスポーツ運動の重要性を保護者に伝えるプログラムの実施を行っている。市の方では、小学校低学年の運動が苦手な子どもを対象として、運動の楽しさを感じてもらおうプログラムを行っている。

20代から40代に向けては、今年から「みたか地域ポイント」との連携を始めた「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリを通じ、気軽に楽しみながらポイントを集めつつ、運動習慣が定着できるような取り組みを行っている。

皆様には、多くの方が体を動かす機会を増やせるような方法について、ご意見いただければと思っている。

【石川委員】

家庭を持つ働き世代からの意見としては、資料4のスポーツ事業等は、誰をターゲットとしているかがわかりづらく感じる。健康・体力相談事業についても、ポスター等を見る限りでは高齢者向けの事業という印象を受けた。どのような人を対象としているのか、過去の相談事例及びその結果を含め、もう少し明確化してほしい。

また、スポーツ教室については、教室参加人数が96%と充実している印象を受けるが、結構空いている教室も見受けられるため、どの教室を埋めたいのか、どの層であれば増やせるのかを考えていただきたい。個人的には、空きがある教室の種目について、運動強度が低く自分は対象ではないと感じることが多いため、内容を拡充するとともに朝の早い時間帯や土日の枠を調整していただければ参加がしやすい。

【大朝スポーツと文化部長】

石川委員が参加を見送った、運動強度が低いと感じた種目を教えていただきたい。

【石川委員】

ヨガ関連は、運動強度が低い印象を受ける。参加した中では、バレトンや太極拳、スモースモーションはもう少し強度が高いものが欲しい。特に、太極拳は高齢者向けのプログラムに感じた。

【大朝スポーツと文化部長】

強めの運動を求めている人が見てもわかりやすいように、一目で運動強度を判断できる要素が記載できるかどうか、持ち帰って検討する。

【石川委員】

名称だけだと判断がつきにくいいため、動きの種類よりも、どのくらいの強度なのか、どのくらいのしんどさなのかを記載していただきたい。

【大朝スポーツと文化部長】

施設の開館時間の都合上、早朝の時間帯は、教室を開くことが現状では難しいが、家庭を持つ働き世代が参加しやすい時間帯について、参考に教えていただきたい。

【石川委員】

子どもが学校や保育園に行った後の、仕事に行く前のすきま時間だと考える。

施設が難しい場合でも、防災公園の広場で休日の早めの時間を活用して体操するなど、枠として一つ設けられると考える。なお、夜の時間帯の教室がとても充実しているが、これは単身者には利用しやすいが、子どもを持つ家庭としては、参加は難しいため、参加できる可能性がある時間帯としては、やはり朝だと考える。

また、参加時間が1時間だと都合をつけにくいいため、30分程度の枠を設けて欲しい。

【西木戸委員】

同じく、親の目線からすると、時間が作りにくいということと、計画的に申し込むことが難しい状況であることから、申し込み不要で、その場に行けばすぐに参加できる10～20分程度の教室だと望ましい。

【木村委員】

資料4の種目別個人開放事業について、利用日数を増やすなど、どのように促進していくの

か、考えを教えて欲しい。卓球の場合だが、平日の午前中を中心に開放を行っており、高齢者向けの事業である印象を受ける。

【酒井委員】

現在、団体予約がかなり入ってる状況だが、一定程度の個人開放の枠は必ず確保するようにしている。卓球については、今後、午前中のみに集中しないように検討していきたい。

【室谷委員】

委員の皆様の意見に共通しているのが、時間帯や曜日の課題だと認識している。既存の団体とのバランスや公平性のバランス、現在人気があるバスケットボール等の種目、平日の朝一から大勢の方で賑わい常に個人開放を行っているトレーニングジムなど、連動している部分があると考えているため、それらの状況を踏まえて、少し空いている時間帯等を検証しながら、事業展開をしていきたい。

【東山座長】

広場の芝生を活用し、子育て世代のお母さんを対象として、プールに子どもを預けてる間にコーヒースタンドを近くに備えて、ピラティスを実施する等、運動に限らず文化的な活動でも良いので、15分程度のリラックスできるプログラムやアクティビティ等を実施すると良いと思う。それにより、参加者のコミュニケーションや館内の情報充実、質の高いプログラムへと繋がっていくと考える。また、こういった企画を出していただいた方に対して、みたか地域ポイントを付与する等、メリットを提示することも良いのではないかな。

【石川委員】

「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリについて、アプリストアのオーナーがシステム会社の名前になっており、三鷹市のアプリだと判断がつきにくいいため、事前に知らない人にとっては信頼性に欠けてしまうのではないかな。また、実際にどのように使えるのかという説明をアプリストア内に記載してほしい。さらに、アプリについて評価の悪いレビューしか見受けられないため、返信を行うなど、改善を行っている姿勢を見せる必要があると思う。

スポーツの情報集約について、新たにスポーツを始める場合、どこを見れば良いのかわからないことが多い。スポーツ教室においても、新たに始める方はスケジュールを見る機会が少ないため、募集が始まっていることも気づきにくい。そのため、市報や市のホームページ等でお知らせを行うことで、時間は合うが気づいていないだけの、新たな利用者を掘り起こせるのではないかなと思う。また、子どもにスポーツを行わせたくとも情報が見つかりにくい現状であるため、どこの地域で、どんなスポーツを、どのような団体が行っているのか、見つけやすい場所に集約していただきたい。資料でいただいた体育施設の一覧もデータであると良い。個人利用やイベント等の情報を一括で見られるようにすることで、知る機会を増やすことが大切だと考える。

【山地主査】

アプリストアの業者名に関して、アプリの公開を申請した業者がストア側としては重要であるため、アプリ開発やストアへの公開を委託している国際テクノロジーセンターが表示されている。当然、説明文の中には、三鷹市のスポーツアプリである旨記載しているが、一度で全文が見えない仕様のため、冒頭にわかりやすく記載する必要があると思った。

レビューの件については、担当者である私自身も頭を悩ませている。アプリのイベントを実施する度に利用者の方へアンケートをしているが、登録者が増えている中でも、7割以上の方が「良かった」という評価で、窓口にお越しいただいた際等に、一部、使いづらいという意見もいただくが、概ね良い評価をいただけていると認識している。利用者の中には、このアプリが歩くきっかけとなり、結果的に7キロ痩せて健康診断の結果も改善し、とても良かったと言ってくださる方もいて、担当者としては嬉しかった。

ただ、ストアにわざわざ評価を投稿する方というのは、多少なりともマイナスなイメージを持ってる人の方が多いのではないかと個人的には感じている。アンケートをとった結果と、レビューの結果が逆となってしまうため、実態に合った、意見が集約されるようなレビューになるよう、利用者へレビューをしてもらう動線が必要だと思うので、今回のイベントのアンケートからは、アプリへのレビューもお願いできるような工夫も始めている。

今回いただいたご意見は、我々も課題として認識していたため、利用者のお声を丁寧に聞きながら、改善していきたいと考えている。

【東山座長】

以上を持って委員の意見交換を終了とする。

(3) その他

事務局からの事務連絡。

以上